

○ソフト対策の主な取組(主な内容と実施する機関)

| 具体的な取組の柱 | | 主な内容 | 目標時期 | 関係機関 | | | | | | | | | | | | | | | | | 地域住民 |
|---|--|---|--|------|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|------|----|--|------|
| 事項 | | | | 福島市 | 郡山市 | 須賀川市 | 二本松市 | 伊達市 | 本宮市 | 桑折町 | 国見町 | 大玉村 | 鏡石町 | 矢吹町 | 玉川村 | 県 | 国 | | | | |
| 具体的取組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①住民の主体的で安全な『避難』を促すためのきめ細やかなリスクコミュニケーション | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■平時のリスク情報周知や防災教育等に関する事項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図の更新(阿武隈川の国管理区間、県管理区間のうち水位周知河川)【拡大】 | ・阿武隈川(国管理)浸水想定区域図を策定・公表・更新する ・県管理区間のうち、水位周知河川について、H28年度から浸水想定区域図の策定・公表・更新を進める | 【国】実施中 【県】R2年度までに30河川策定公表 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ● | ● | 活用 | | | |
| 2 | ・支川や内水を考慮し「複合的なハザードマップ」の作成・周知【拡大】 | ・支川や内水を考慮し、広域避難等を反映した洪水ハザードマップを作成・周知する | 実施中 (今後更新・改定を実施) | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | 作成支援 | 活用 | | |
| 3 | ・まるごとまちごとハザードマップにおける地域住民等への洪水情報の普及【新規】 | ・まるごとまちごとハザードマップ等、日常生活上で認識されやすく、防災に興味がない人でも浸水深や避難所等の情報を得られるよう整備する。 | 実施中 (今後実施を検討) | ● | - | ● | ● | - | - | - | - | ● | - | - | - | - | - | 活用 | | | |
| 4 | ・町内会等、限られた地域の洪水リスクや水位情報の確認方法の周知【拡大】 | ・町内会等、限られた地域毎の特性を反映した、各地での洪水リスクや避難方法について広報誌等により周知する。 | 実施中 (今後更新・改定を実施) | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | 活用 | | |
| 5 | ・ダムや堤防等の施設の機能に関する情報提供の充実【継続】 | ダム管理所・河川事務所共同で下流地域における出前講座の実施やSNS等を用いた広報の拡充 | 【国】実施中 【県】今後実施を検討 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | ● | 参加 | | | |
| 6 | ・基準水位や過去洪水における水位などの表示の増設・広報の充実【拡大】 | ・護岸や量水板、排水機場などに、基準水位や過去洪水における水位の表示を行い、河川管理の見える化を推進すると共に、その表示について広報する。 | 実施中 (今後実施を検討) | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | - | ○ | - | ● | ● | 活用 | | |
| 7 | ・小学生等を対象とした防災・河川教育の取り組み強化【継続】 | ・学校の先生が、水災害に関する授業を実施するための、教材作成等を支援し、継続的な防災・河川教育を推進する。 ・出前講座の充実強化に加え、小学校等の授業の中で、防災・河川教育に取り組んでいく。 | 【学校授業】実施中 (今後実施を検討) 【出前講座】実施中 (今後実施を検討) | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | 参加 | | |
| 8 | ・自主防災組織等の育成や活動支援・連携強化【新規】 | ・各自治体において自主防災組織の育成を促す取組や、活動内容を支援、各自治体と連携を図り活動を支援する。 | 実施中 (今後実施を検討) | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | - | ● | ● | - | - | ● | - | 参加 | | | |
| 9 | ・流域住民の防災意識向上を図り、実効的な避難を促すための防災訓練等の取組強化と広報展開【拡大】 | ・各自治体において自主防災組織への加入を促す取組や、危機意識の向上を図る啓発活動を実施する ・令和元年東日本台風をはじめとする過去洪水被害と、その教訓を風化させないための啓発活動を実施する ・あわせて本ビジョンに基づく取組の広報展開を図る | 実施中 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | - | ● | ● | ● | ● | 参加 | | |
| ■発災時の迅速かつ確実な避難に関する事項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | ・支川や内水を考慮した洪水タイムライン(防災行動計画)の改善【拡大】 | ・支川や内水及び、避難勧告に着目した洪水タイムラインを検証し見直しを図る ・国は市町村のタイムライン策定に係る支援を行う | 実施中 (今後実施を検討) | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ● | ● | ● | ● | ● | - | | |
| 11 | ・「町内会版タイムライン」等、危機管理型水位計の活用を含めた地域毎の避難体制の策定・普及・訓練の実施【新規】 | ・バックウォーター等、地域の特性に応じて、危機管理型水位計の活用をいこと等により地域毎の避難体制を策定・普及を行う。また、それに応じて訓練を行う。 | 実施中 (今後実施を検討) | - | ● | ● | - | - | - | - | - | - | ○ | ○ | - | - | - | 作成支援 | 活用 | | |
| 12 | ・マイ・タイムラインにおける「住民一人ひとりのタイムライン」の普及・促進の実施【新規】 | ・マイタイムライン等の講習会など、普及を行うことにより、市民の活用を促す。 | 実施中 (今後実施を検討) | ● | ● | ○ | ● | - | ● | ● | - | - | ○ | ○ | ○ | - | - | 作成支援 | 活用 | | |
| 13 | ・地域防災計画及び地区防災計画の策定・更新【新規】 | ・各自治体等において、地域防災計画を策定し、都度更新する。 ・地区毎に地区防災計画を策定・検討する。 | 実施中 (今後実施を検討) | ● | ● | ● | ● | ● | ● | - | - | - | ● | ● | ● | - | - | 作成支援 | | | |
| 14 | ・要配慮者利用施設の避難確保計画の策定・指導【新規】 | ・水防法に義務づけられている要配慮施設の避難確保計画について策定すると共に、自治体は指導を行う。 | 実施中 (今後実施を検討) | ● | ● | ● | ● | - | - | - | - | - | ● | - | - | - | - | 作成支援 | | | |
| 15 | ・広域避難や分散型避難も含めた、避難の体制・施設・情報周知に関する強化、訓練の実施【新規】 | ・感染症等も考慮した、広域避難や分散型避難について検討すると共に、避難の体制や施設、訓練、情報周知のあり方について強化する。 | 実施中 (今後実施を検討) | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | - | - | ● | - | - | - | - | - | | | |

○：実施予定、●：実施中(実施済)、-：対象なし

| 具体的な取組の柱 | | 主な内容 | 目標時期 | 関係機関 | | | | | | | | | | | | | | 地域住民 |
|----------|---|--|--|------|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|------------------|------|
| 事項 | 具体的取組 | | | 福島市 | 郡山市 | 須賀川市 | 二本松市 | 伊達市 | 本宮市 | 桑折町 | 国見町 | 大玉村 | 鏡石町 | 矢吹町 | 玉川村 | 県 | 国 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | ・ホットラインの体制確認及び伝達内容・方法の充実【拡大】 | ・避難勧告等の発令判断の一助となるよう、過去洪水における水位・雨量・避難勧告等の実績を整理し、共有を図る。 ・テレビ電話等、ホットラインの実施方法について拡充する。 | 実施中 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | - | ● | ● | ● 東北地整 気象庁 | - |
| 17 | ・過去洪水における水位状況を踏まえた避難可能道路等、避難に資する情報の可視化【拡大】 | ・洪水時に冠水し通行止めとなる道路などを、過去洪水の実績を踏まえながら整理し、洪水ハザードマップ等で住民等に公表すると共に、市民の避難の一助としてもらう。 | 【ハザードマップ等対応】 実施中(今後実施を検討) 【冠水危険箇所】 実施中(今後実施を検討) | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | - | ● | - | ● | ● | - | 活用 | |
| 18 | ・プッシュ型情報配信システムの運用等、災害情報伝達手段を充実させた積極広報【拡大】 | ・「リニューアル版・川の防災情報」や「地デジによる水位情報」などの更なる周知を図る。 ・SNSや防災無線等、災害関連情報の伝達手段の充実を図る。 | 実施中 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | - | ● | - | ● 東北地整 | 活用 | |
| 19 | ・記者発表内容等の内容や用語の見直しを含めた、マスメディアと連携した情報発信【拡大】 | ・情報伝達者であるマスメディアと連携して、記者発表内容や情報提供サイト等の内容や表現内容を改善する | 実施中 (今後実施を検討) | - | ● | - | - | - | - | ● | - | - | - | - | ● | ● 東北地整 | 活用 | |
| 20 | ・気象情報発信時の水害時の情報入手のし易さを改善【拡大】 | ・気象庁にて、警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化 | 実施中 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ● 気象庁 | 活用 | |
| 21 | ・河川情報表示板等の増設及び表示内容の多様化【拡大】 | ・既存の9箇所の配置状況を周知し、表示内容について拡充を行う。 | 関係自治体と調整中 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ 東北地整 | 活用 | |
| 22 | ・本川の背水影響が及ぶ区間も含めた「危機管理型水位計」及びCCTVカメラ、簡易型監視カメラの設置、周知による早期避難の促進【集約】 | ・危機管理型水位計、CCTVカメラ及び管理型監視カメラ等を増設し画像を提供し、関係自治体と連携し広報誌・HPなどへの掲載により、広く一般の方へ周知するとともに、洪水時の画像確認で早期避難の促進を図る。 | 実施中 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | - | - | - | ● | ● | ● 東北地整 | 活用 |

②発災時に人命と財産を守る『水防活動』の強化

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|--|--|-----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-----------|-----------|----|
| 23 | ・水防団や地域住民が参加し、水害リスクの高い箇所の共同点検結果の活用【拡大】 | ・「避難を促す緊急行動」として実施した住民参加型の共同点検を、今後の重要水防箇所合同巡視の実施時にも継続して実施し、結果を水防活動に役立てる。 | 今後も引き続き実施 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | - | ● | - | ● | ● | ● 東北地整 | 参加 |
| | ・水害リスクの高い場所における大型連節ブロックを活用した簡易量水板の配置 | ・洪水時における主要箇所の水位確認について、CCTVカメラの場合、現地に目印が無いため堤防天端までの水位状況が不明なことから、大型連節ブロックを活用した簡易量水板による水位状況確認(特に高水位部)について現地検討を実施。 | 実施中 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ● 東北地整 | 活用 | |
| 24 | ・充分な水防資機材の整備と確保【継続】 | ・水防活動等に必要資機材のストック状況の確認、必要数の整備と確保を行う | 今後も引き続き実施 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | - | ● | ● | ● 東北地整 | 参加 | |

③一刻も早く日常生活を取り戻すための『排水活動』等の強化

■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------------------------------------|---|-----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-----------|-----------|---|
| 25 | ・国と市町村の合同で排水ポンプ車等の操作訓練実施【継続】 | ・排水ポンプ車等の訓練に際して県市町村へも案内を行うとともに、実際に設置訓練にも参加するものとする。 ・必要に応じ、排水施設の整備等を図る。 | 今後も引き続き実施 | ● | ● | ● | ● | ● | - | ● | ● | - | ○ | - | ○ | - | ● 東北地整 | - |
| 26 | ・災害対策機械の適切な配置検討、増強及び機動的かつ広域的な運用【継続】 | ・管内各拠点へ分散配備することで、災害時に迅速な対応を行っている。また、県を越えての広域的な運用も行っている。 | 今後も引き続き実施 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ● 東北地整 | - | |
| 27 | ・各自自治体での排水ポンプ場の運転調整ルールの策定【新規】 | ・自治体において、排水ポンプ場の運転調整ルールが未策定の施設があるため、運転調整ルールを策定する。 | 今後実施を検討 | - | ● | - | - | - | - | - | - | - | ● | - | - | - | - | |
| 28 | ・排水作業準備計画の作成【継続】 | ・長期間浸水が継続する地区等において、排水作業準備計画を作成 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ● 東北地整 | - | |

○：実施予定、●：実施中(実施済)、-：対象なし

取組方針フォローアップ(集約結果)

○ソフト対策の主な取組(機関別の取組目標)

R5.2.14時点

| 項目 | 事項 | 内容 | 福島市 | 郡山市 | 須賀川市 | 二本松市 | 伊達市 | 本宮市 | 桑折町 | 国見町 | 大玉村 | 鏡石町 | 矢吹町 | 玉川村 | 福島県(河川計画) | 福島県(危機管理) | 東北地整 | 気象庁 |
|----|----|------------------------------------|--|--|---|--|--|------------------------------------|--------------------------------------|--|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---|--|--|---|-----|
| 6 | | ・基準水位や過去洪水における水位などの表示の増設・広報の充実【拡大】 | ・現在の状況を精査し今後検討 | ・既設河川水位表示・4箇所。(増設については検討中) | ・調査のうえ、検討を行う。【H28年度～】 | ・調査のうえ、必要に応じて表示を増設する【H30年度～】 | ・「橋脚への水位表示」について福島河川国道事務所により3箇所設置済み【H30.3】 | ・調査のうえ、必要に応じて検討する。【H30年度～】 | ・「橋脚への水位表示」が福島河川国道事務所により設置済み【H29.3】 | ・「橋脚への水位表示」について、福島河川国道事務所と協議し、平成29年出水期前に設置。【H29.5】 | ・実施を検討する【H30年度～】 | ・実施を検討する【R3年度～継続目標】 | - | ・関係機関と設置について検討する【H29年度～】 | - | - | ・護岸や量水板、排水機場などに、基準水位や過去洪水における水位の表示を行い、河川管理の見える化を推進 ・橋脚への水位表示、S61年・H23年洪水の痕跡表示板の新設【H29.5まで】 ・福島市・伊達市の堤防工事完了に合わせ水位表示板を設置【H29.9】 ・伊達市から要望のあった橋脚への水位表示を実施【H30.3】 ・東日本台風の到達水位を示す痕跡表示板を各観測所等に設置【R2】 【継続実施】 | - |
| 7 | | ・小学生等を対象とした防災・河川教育の取り組み強化【継続】 | ・市教育委員会や市内の小中学校と調整し、防災講話等を実施。【H28年度～】継続、防災講話等の実施 ・水害等に係る出前講座を実施【継続】 | ・水害・防災に係る出前講座について、内容を強化して実施【継続】 ・講座PRチラシを小中学校に配布し周知活動を積極的に行う【H29年度～】 ・小学生とその保護者を対象とした親子防災体験活動を実施【H28.8】【継続】 ・小学生(4年)と地域住民、関係機関・団体が共同で地域防災マップを作成する事業(ほうさい探検隊)を実施【H28.9】【継続】 ・市内小中学校に、防災・水害等に関する出前講座の募集【H29年度～】 ・市総合防災訓練を実施【継続】 | ・教育委員会と連携し、市内の小中学校に対し、防災・河川環境教育の働きかけを行う【H29年度～】 | ・市教育委員会と、小中学校総合学習授業の中で取り組んでいくか検討する【H29年度～】 | ・市教育委員会と、小中学校総合学習授業の中で取り組んでいくか検討する【H29年度～】 | ・市教育委員会と連携し防災教育の手法について検討する【H29年度～】 | ・従来実施しているキッズ防災教室との連携について検討する【H29年度～】 | ・大玉村教育委員会と実施に向けて検討していく【H30年度～】 | ・教育委員会と連携し防災教育の手法について検討する【R3年度～継続目標】 | ・教育委員会と調整し、出前講座等の活用を踏まえ検討する【H29年度～】 | ・教育委員会と調整し、出前講座等の活用を踏まえ検討する【H29年度～】 | ・「豪雨から子どもを守る出前講座事業」を実施【H21～継続実施】 ・「防災出前講座」実施【平成28年度は、県内全体で96校【H29.3時点】に対して講座を実施】【継続実施】 【H29年度】 ○水災害対策講習会の実施 いわき市にて、住民・行政職員を対象とした講習会を開催。【令和2年度】 89団体2,984名 【令和3年度】 ○小中学校への出前講座 63校の小中学校の3,477人の生徒に対して、出前講座を実施。【H30年度】 ○水災害対策講習会の実施 郡山市にて、県中管内12市町村の行政職員を対象とした講習会を4/27に開催。 ○小中学校への出前講座 78校の小中学校の4,540人の生徒に対して出前講座を実施。【R元年度】 ○水災害対策講習会の実施 柳津町にて、会津若松、喜多方、南会津管内17市町村の行政職員を対象とした講習会を4/28に開催。 ○小中学校への出前講座 78校の小中学校の約3,113名の生徒に対して出前講座を実施。【R2年度】 ○小中学校への出前講座 78校の小中学校で出前講座を実施。【R3年度】 ○小中学校への出前講座 86校の小中学校の約4,743名出前講座を実施。【R4年度】 ○小中学校への出前講座 87校の小中学校等で出前講座を実施予定。 | ・福島県(杉妻小学校)の小学5年生を対象に、阿武隈川を題材とした理科の試行授業を実施【H28.10、H29.10】 ・県内防災教育実践校の校長会議で、阿武隈川の防災教育の教材活用についてPR【H29.1】 ・福島市(杉妻小学校)を対象とした試行授業を経て、他の小学校でも利用可能な学習教材を作成【H29年度】 【令和3年度】 ○小学校への出前講座 佐倉小学校5年生44人に出前講座を実施【H30年度】 ○小学生への出前講座 福島大学附属小学校及び吉井田地区の小学生 約200人に対して出前講座を実施【R1年度】 ○小学校への出前講座 杉妻小学校5年生104名に出前講座を実施【R2年度】 | ・福島県(杉妻小学校)の小学5年生を対象に、阿武隈川を題材とした理科の試行授業を実施【H28.10、H29.10】 ・県内防災教育実践校の校長会議で、阿武隈川の防災教育の教材活用についてPR【H29.1】 ・福島市(杉妻小学校)を対象とした試行授業を経て、他の小学校でも利用可能な学習教材を作成【H29年度】 【令和3年度】 ○小学校への出前講座 佐倉小学校5年生44人に出前講座を実施【H30年度】 ○小学生への出前講座 福島大学附属小学校及び吉井田地区の小学生 約200人に対して出前講座を実施【R1年度】 ○小学校への出前講座 杉妻小学校5年生104名に出前講座を実施【R2年度】 | ・国土交通省・国土地理院・気象庁の連携による学校防災教育への取り組み【H28年度～】 ・日本赤十字社と連携した学校防災教育への取り組み ・気象庁ワークショップ等を通じた防災教育を支援【継続実施】 【H30～R1】 ・福島県学校安全指導者研修会への講師派遣 ・小中高への出前講座実施。【R4 5校】【継続実施】 | |
| 8 | | ・自主防災組織等の育成や活動支援・連携強化【新規】 | ・自主防災組織の育成及び活動支援を図る。【継続実施】 | ・自主防災組織への助成を図るとともに各種研修会を実施し、育成や活動支援を図る。【R2～継続】 防災リーダー研修会や防災士養成研修会を開催し人材育成を図る。【継続】 | ・自主防災組織の育成及び活動支援を図る。【継続実施】 | ・自主防災組織の育成及び活動支援を図る。【継続目標】 | ・自主防災組織の育成及び活動支援を図る。【継続目標】 | ・自主防災組織の育成及び活動支援を図る。【継続目標】 | ・自主防災組織の育成及び活動支援を図る。【継続目標】 | ・自主防災組織の育成及び活動支援を図る。【継続目標】 | ・自主防災組織の育成及び活動支援を図る。【継続目標】 | ・自主防災組織の育成及び活動支援を図る。【継続目標】 | - | ・自主防災組織の育成及び活動支援を図る。【R3年度～継続目標】 | - | - | ・自主防災組織強化事業として、自主防災組織の強化を支援 ①市町村研修 市町村担当者を対象に4回の研修会を開催し、自主防災組織に係る知見や事例の共有を行った。 ②自主防災組織リーダー研修 自主防災組織のリーダー等を対象に研修会を開催 日時：令和4年11月6日 参加者：10市町村77名 ③活動促進・資機材整備事業 補助金 自主防災組織等の活動促進又は資機材整備に係る経費について、市町村への補助事業を実施 【補助実績】 5市町20団体 | - |

取組方針フォローアップ(集約結果)

〇ソフト対策の主な取組(機関別の取組目標)

R5.2.14時点

| 項目 | 事項 | 福島市 | 郡山市 | 須賀川市 | 二本松市 | 伊達市 | 本宮市 | 桑折町 | 国見町 | 大玉村 | 鏡石町 | 矢吹町 | 玉川村 | 福島県(河川計画) | 福島県(危機管理) | 東北地整 | 気象庁 | |
|----------------------|---|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|-----------|------|--|---|
| ■発災時の迅速かつ確実な避難に関する事項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 支川や内水等を考慮したタイムライン(防災行動計画)の改善【拡大】 | ・先行事例を踏まえ、実施を検討【H28年度～】郡山市検討会視察 詳細タイムライン策定【H30.3】 ・避難訓練等を踏まえ、タイムラインを改善【H31年度】 | ・ホットラインの体制を確認(郡山市タイムライン)【H28年度～】 ・ホットラインの運用(実績:台風第21号) ・台風第13号の接近前に福島河川国道事務所長からの電話連絡により双方の情報共有【H30年度】 ・令和元年台風第19号の接近後に福島河川国道事務所長からの電話連絡により双方の情報共有【R2年度】 | ・先行事例を踏まえ、実施に向け検討を行う【H28年度～】郡山市検討会視察 ・台風21号を踏まえて、市災害対策本部机上訓練実施【H29.11】 ・避難訓練等を踏まえ、タイムラインを改善【H31年度】 | ・先行事例を踏まえ、実施を検討【H28年度～】 ・簡易版タイムラインを作成し、ハザードマップへ掲載。【H30年度】 ・避難訓練等を踏まえ、タイムラインを改善【H31年度】 | ・タイムラインの運用【H29公表】 ・詳細版タイムラインの作成【H31年度～】 | ・先行事例を踏まえ、実施を検討【28年度～】 ・郡山市検討会視察 ・避難訓練等を踏まえ、タイムラインを改善【平成31年度】 | ・先行事例を踏まえ、実施を検討【H29年度】 ・避難訓練等を踏まえ、タイムラインを改善【H31年度】 | ・地域防災計画の見直しと併せて平成28年度内に実施を検討する。 ・先行事例を踏まえ、実施を検討【H29年度～】 ・避難訓練等を踏まえ、タイムラインを改善【H31年度】 | ・先行事例を踏まえ、実施を検討【H30年度～】 ・避難訓練等を踏まえ、タイムラインを改善【H31年度】 | ・先行事例を踏まえ、実施を検討【R3年度～継続目標】 ・避難訓練等を踏まえ、タイムラインを改善【H31年度】 【R2年度】 | ・先行事例を踏まえ、実施を検討する【R3年度～】 | ・先行事例を踏まえ、実施を検討する【H28年度～】 ・避難訓練等を踏まえ、タイムラインを改善【H31年度】 | ・県管理区間のうち、水位周知河川について、H29年度からタイムライン策定を進めている | - | - | - | ・現在試行段階であるタイムラインを検証し見直しを図る ・市町村のタイムライン策定に係る支援を行う【H28年度～】 ・福島市や福島河川国道事務所と協力して詳細版のタイムラインの検討会を開催【H29.1、H29.2、H29.3】 ・タイムライン策定支援として、「タイムライン防災講演会」を開催【R2.10】 ・広域タイムライン策定【R3.2】 |
| 11 | 「町内会版タイムライン」等、危機管理型水位計の活用も含めた地域毎の避難体制の策定・普及・訓練の実施【新規】 | - | ・市内2地区において避難行動の実効性を高めるための防災マップづくりを実施。【H30年度】 ・市内2地区において避難行動の実効性を高めるための地区防災計画を策定。【R1年度】 | ・地区防災計画等、危機管理型水位計の活用も含めた地域毎の避難体制の策定・普及・訓練について検討する。【令和3年度～】 | - | - | - | - | - | - | - | ・先行事例を踏まえ、実施を検討する【R3年度～継続目標】 | ・先行事例を踏まえ、実施を検討する【R3年度～】 | - | - | - | - | |
| 12 | マイ・タイムラインにおける「住民一人ひとりのタイムライン」の普及・促進の実施【新規】 | ・出前講座やホームページでマイ・タイムラインの普及・促進を実施【R4年度～】 | ・自主防災組織や町内会、各種団体を対象とした出前講座を実施し、マイ・タイムラインについて普及啓発を図った。【R2年度】 ・自分自身や家族の防災行動計画を記入可能な防災ハンドブックを作成し全戸配布する。【R3年度】 | ・マイ・タイムラインにおける「住民一人ひとりのタイムライン」の普及・促進について検討する。【令和3年度～】 | ・ハザードマップの見直しに伴い、家屋等の防災行動を記入するページを作成し、マイ・タイムラインの普及・促進を検討する。【令和4年度～】 | - | - | - | - | - | - | ・マイ・タイムライン等の支援作成・講演会の実施を検討【R3年度～継続目標】 | ・先行事例を踏まえ、実施を検討する【R3年度～】 | ・マイ・タイムラインにおける「住民一人ひとりのタイムライン」の普及・促進について検討する【令和3年度～】 | - | - | - | - |
| 13 | 地域防災計画及び地区防災計画の策定・更新【新規】 | ・地区防災計画等の検討・策定を支援【R2年度】 | ・市内2地区において避難行動の実効性を高めるための地区防災計画を策定。【R1年度】 ・令和元年東日本台風の検証結果、ハザードマップ等を踏まえた地域防災計画・資料の改訂を実施。【R2年度】 | ・須賀川市地域防災計画の改訂を実施。【令和2年度】 ・地区防災計画の検討・策定を支援。【令和3年度～】 | ・地域防災計画の改定を実施する。【令和3年度】 ・地域防災計画を改訂した。【令和4年度】 ・県と合同で地区防災計画の策定支援。【令和4年度】 | ・令和元年東日本台風の災害対応検証を踏まえた地域防災計画の改定を実施。【令和3年度】 | - | - | - | - | - | ・東日本台風を考慮し、地域防災計画を改定。【R2年度】 | ・地域防災計画を作成し、避難所等を指定。【H28年度】 | ・地域防災計画を更新し、避難所等を指定。【3年度】 | - | - | ・県、市町村への策定を支援【継続実施】 令和4年度福島市、須賀川市、伊達市等の地域防災計画改定の支援 | |
| 14 | 要配慮者利用施設の避難確保計画の策定・指導【新規】 | ・要配慮者利用施設の避難確保計画を作成【R2年度】 | ・要配慮者利用施設避難確保計画の作成支援【R3年度】 | ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成を支援。【令和2年度～】 | ・水防法については、想定区域内に対象施設は無いが、継続して対象施設の洗い出しを実施する。【令和3年度～】 | - | - | - | - | - | - | ・現状は浸水想定区域内に対象施設は無いが、継続して対象施設の洗い出しを実施する。【R3年度～】 | - | - | - | - | ・国土交通省にて、「講習会の企画調整及び運営マニュアル」を作成。【平成30年度】 ・「要配慮者利用施設の避難確保計画作成に向けた開催マニュアル」として改訂を実施【令和元年度】 | |
| 15 | 広域避難や分散型避難も含めた、避難の体制・施設・情報周知に関する強化、訓練の実施【新規】 | ・新型コロナウイルス感染症対策を考慮した分散避難の体制構築、避難所運営訓練を実施【R2年度～】 | ・分散避難を踏まえた避難確保スペースの見直し、避難所開設訓練の実施、備蓄品の充実。 ・株VACANと協定締結し、避難所の運轉状況をインターネット上で閲覧できるサービスを提供。 ・浸水最大想定区域の拡大を踏まえ重畳避難可能な施設を含む民間施設と避難所開設の協定締結を実施。【R2年度】 | ・分散型避難も含めた、避難の体制・施設・情報周知に関する強化、訓練の実施について検討する。【令和2年度～】 | ・分散型避難を含めた避難のフローを広報で周知。ハザードマップへの掲載も検討。【令和3年度～】 ・防災アプリの構築と運用開始。【令和4年度～】 | ・災害監視システムの導入【令和2年度】 ・防災アプリの構築と運用開始。【令和3年度】 ・災害関連情報オペレーションシステムの運用開始【令和4年度】 | ・新型コロナウイルス感染症対策を考慮した避難所運営訓練の実施【R2年度】 ・サテライト防災備蓄倉庫整備【R3年度】 | ・分散型避難等新たな避難行動を周知、避難訓練の実施を検討。【R2年度】 | - | - | - | - | ・分散型避難等新たな避難行動を周知、避難訓練の実施を検討。【R3年度～継続目標】 | - | - | - | - | - |
| 16 | ホットラインの体制確認及び伝達内容・方法の充実【拡大】 | ・タイムライン等を活用し、ホットラインの体制等を確認【H28年度～】継続 【H29年度】 ・ホットラインの運用(実績:台風第21号) ・台風第13号の接近前に福島河川国道事務所長からの電話連絡により双方の情報共有【H30年度】 【令和元年】台風第19号の接近後に福島河川国道事務所長からの電話連絡 | ・ホットラインの体制を確認(郡山市タイムライン)【H28年度～】 【H29年度】 ・ホットラインの運用(実績:台風第21号) ・台風第13号の接近前に福島河川国道事務所長からの電話連絡により双方の情報共有【H30年度】 【令和元年】台風第19号の接近後に福島河川国道事務所長からの電話連絡を11回実施 | ・タイムライン等を活用し、ホットラインの体制等を確認【H28年度～】 【H29年度】 ・ホットラインの運用(実績:台風第21号) ・洪水対応演習でホットライン訓練を実施。【令和3.4演習】 ・台風第13号の接近前に福島河川国道事務所長からの電話連絡により双方の情報共有【H30年度】 【令和元年】台風第19号の接近後に福島河川国道事務所長からの電話連絡 | ・タイムライン等を活用し、ホットラインの体制等を確認【H28年度～】 【H29年度】 ・洪水対応演習でホットライン訓練を実施。【令和3.4演習】 ・台風第13号の接近前に福島河川国道事務所長からの電話連絡により双方の情報共有【H30年度】 【令和元年】台風第19号の接近後に福島河川国道事務所長からの電話連絡 | ・タイムライン等を活用し、ホットラインの体制等を確認【H28年度～】 【H29年度】 ・ホットラインの運用(実績:台風第21号) ・台風第13号の接近前に福島河川国道事務所長からの電話連絡により双方の情報共有【H30年度】 【令和元年】台風第19号の接近後に福島河川国道事務所長からの電話連絡 | ・タイムライン等を活用し、ホットラインの体制等を確認【H28年度～】 【H29年度】 ・ホットラインの運用(実績:台風第21号) ・台風第13号の接近前に福島河川国道事務所長からの電話連絡により双方の情報共有【H30年度】 【令和元年】台風第19号の接近後に福島河川国道事務所長からの電話連絡 | ・タイムライン等を活用し、ホットラインの体制等を確認【H28年度～】 【H29年度】 ・ホットラインの運用(実績:台風第21号) ・台風第13号の接近前に福島河川国道事務所長からの電話連絡により双方の情報共有【H30年度】 【令和元年】台風第19号の接近後に福島河川国道事務所長からの電話連絡 | ・タイムライン等を活用し、ホットラインの体制等を確認【H28年度～】 【H29年度】 ・ホットラインの運用(実績:台風第21号) ・台風第13号の接近前に福島河川国道事務所長からの電話連絡により双方の情報共有【H30年度】 【令和元年】台風第19号の接近後に福島河川国道事務所長からの電話連絡 | ・タイムライン等を活用し、ホットラインの体制等を確認【H28年度～】 【H29年度】 ・ホットラインの運用(実績:台風第21号) ・台風第13号の接近前に福島河川国道事務所長からの電話連絡により双方の情報共有【H30年度】 【令和元年】台風第19号の接近後に福島河川国道事務所長からの電話連絡 | ・タイムライン等を活用し、ホットラインの体制等を確認【H28年度～】 【H29年度】 ・ホットラインの運用(実績:台風第21号) ・台風第13号の接近前に福島河川国道事務所長からの電話連絡により双方の情報共有【H30年度】 【令和元年】台風第19号の接近後に福島河川国道事務所長からの電話連絡 | ・タイムライン等を活用し、ホットラインの体制等を確認【H28年度～】 【H29年度】 ・ホットラインの運用(実績:台風第21号) ・台風第13号の接近前に福島河川国道事務所長からの電話連絡により双方の情報共有【H30年度】 【令和元年】台風第19号の接近後に福島河川国道事務所長からの電話連絡 | ・タイムライン等を活用し、ホットラインの体制等を確認【H28年度～】 【H29年度】 ・ホットラインの運用(実績:台風第21号) ・台風第13号の接近前に福島河川国道事務所長からの電話連絡により双方の情報共有【H30年度】 【令和元年】台風第19号の接近後に福島河川国道事務所長からの電話連絡 | ・市町村担当課への基準水位到達の通報を継続する ・平成29年の出水期までに洪水予報河川及び水位周知河川についてホットラインを構築済み | - | - | - | ・避難勧告等の発令判断の一助となるよう、過去洪水における水位・雨量・避難勧告等の実績を整理し共有する【H29年度】 ・H28年度の幹事会および協議会で資料提示【H29.4】 【H29年度】 ・ホットラインの運用(実績:台風第21号) ・台風第13号の接近前に各市町村長等との電話連絡により双方の情報共有【R1年度】 ・ホットラインの運用(実績:台風19号) 【R2年度】 ・ホットラインの運用(実績:R3.2.13福島県沖地震) 【R3年度】 ・洪水対応演習でホットライン訓練を実施(実績:R3.6演習 R3.7.26台風8号 R3.8.6台風10号 R4.3.16福島県沖地震) ・WEB会議等によるホットラインの実施を検討 |

取組方針フォローアップ(集約結果)

〇ソフト対策の主な取組(機関別の取組目標)

R5.2.14時点

| 項目 | 事項 | 内容 | 福島市 | 郡山市 | 須賀川市 | 二本松市 | 伊達市 | 本宮市 | 桑折町 | 国見町 | 大玉村 | 鏡石町 | 矢吹町 | 玉川村 | 福島県(河川計画) | 福島県(危機管理) | 東北地整 | 気象庁 | |
|----|----|--|---|---|---|--|--|--|---|--|--|---|-----|---|--|-----------|---|--|---|
| 17 | | ・過去の洪水における水位状況を踏まえた避難可能道路等、避難に資する情報の可視化【拡大】 | ・過去の浸水箇所や道路浸水箇所をハザードマップに明記し、住民に公表済み【H30年度】 | ・洪水時に冠水し通行止めとなる道路などを、過去洪水の実績を踏まえながら整理し、住民等に公表する【H29年度～】 【R2年度】 ・ハザードマップの改訂にあたり「アンダーパス」を明記した | ・過去の洪水における実績を踏まえながら整理し、ハザードマップ等を通し住民等に公表する【H30年度】 【令和2年度】 ・ハザードマップの改訂にあたり「アンダーパス」を明記した | ・過去の洪水における実績を踏まえながら整理し、ハザードマップ等を通し住民等に公表する【H31年度～】 【H29年度～】 | ・洪水時に冠水し通行止めとなる道路などを、過去洪水の実績を踏まえながら整理し、住民等に公表する【H30年度～】 | ・過去の洪水における実績を踏まえながら整理し、ハザードマップ等を通し住民等に公表する【H31年度～】 【H29年度～】 | ・過去の洪水における実績を踏まえながら整理し、ハザードマップ等を通し住民等に公表する【H30年度～】 | ・地域防災計画の見直しと併せて平成28年度内に関係部局と連携し、公表する予定。 ・関係部局と連携し、過去に冠水し通行止めとなった道路を整理し、住民等に公表する【H28年度～】 | - | ・過去の洪水における実績を踏まえながら整理し、ハザードマップ等を通し住民等に公表する。 【R3年度～継続目標】 ・災害時においては、通行止め箇所等を防災行政無線により周知する。 【R3年度～継続目標】 | - | ・過去の洪水における実績を踏まえながら整理し、ハザードマップ等を通し住民等に公表する | ・県の道路管理課のホームページで、冠水危険箇所(市町村道も含む)を公表済み http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41035c/kansuikenkasho.html | - | - | - | |
| 18 | | ・プッシュ型情報配信システムの運用等、災害情報伝達手段を充実させた積極広報【拡大】 | ・「緊急連絡メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信」を、国と連携しH29年5月から開始【H29年度】 ※広報誌H29.4月号に掲載【H30年度】 ※荒川が追加配信となるため、広報誌H30.5月号に掲載予定 | ・「緊急連絡メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信」を、国と連携してH29年5月から開始 ・広報誌、HPによる周知【H29年度～】 ・避難関連情報のプッシュ型配信(台風第21号・全19回配信) ・避難関連情報のプッシュ型配信(台風第19号・全15回配信) 【R元年度】 ・緊急連絡メールの配信手段に楽天モバイルを追加【R2年度】 ・視覚障がい者向けの電話による避難情報の発信「プッシュ型」を導入【R4年度～】 | ・「緊急連絡メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信」を、国と連携してH29年5月から開始 ※広報誌H29.5月号に掲載 ・「防災行政無線(個別受信機・屋外スピーカー)の導入」【H30年度～】 ・「防災アプリの運用開始」【令和4年度～】 | ・「緊急連絡メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信」を、国と連携してH29年5月から開始 ・広報誌、HPによる周知【H29年度～】 ・防災アプリの構築と運用開始【令和3年度】 | ・「緊急連絡メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信」を、国と連携してH29年5月から開始 ・広報誌、HP、防災行政無線、FMラジオによる周知【H29年度～】 ※広報誌H29.5月号に掲載済 ・LINE等のSNSを活用した災害情報の発信を開始【令和4年度～】 | ・「緊急連絡メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信」を、国と連携してH29年5月から開始 ・広報誌、HPによる周知【H29年度～】 ※広報誌H29.4月号に掲載済 | ・「緊急連絡メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信」を、国と連携してH29年5月から開始 ・広報誌、HPによる周知【H29年度～】 | ・「緊急連絡メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信」を、国と連携してH29年5月から開始 ・広報誌、HPによる周知【H29年度～】 | ・「緊急連絡メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信」を、国と連携してH29年5月から開始 ・広報誌、HPによる周知【R3年度～継続目標】 | ・「緊急連絡メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信」を、国と連携してH29年5月から開始 ・SNSを利用した災害情報等の配信を開始 ・広報誌、HPによる周知【R3年度～継続目標】 | - | ・「緊急連絡メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信」を、国と連携してH29年5月から開始予定【H29年度～】 | - | - | ・「リニューアル版」川の防災情報」や「地デジによる水位情報」などの更なる住民周知 ・「緊急連絡メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信」を、流域市町村と協力し配信開始【H29.5】 ・「緊急連絡メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信」に阿武隈川支川荒川を追加【H30.5】 ・Twitterを開設し、事業・防災情報を発信【R2.6】 ・「阿武隈川上流お知らせメール」はR2.1125にサービス終了。【R2】 ・今後は「川の水位情報」「川の防災情報」にて水位、カメラ画像を配信。また「水害リスクライン」により、地先毎の危険度情報を提供する。 【R3】 | ・防災情報提供システムのメール送信機能の利用促進【継続実施】 | |
| 19 | | ・記者発表内容等の内容や用語の見直しを含めた、マスメディアと連携した情報発信【拡大】 | - | ・RFQ福島FMへ道路冠水情報等の情報発信の拡大。 ・郡山コミュニティ放送と連携し、市庁舎サテライトスタジオ開設の回線網を整備。【R2年度】 | - | - | - | - | - | ・情報伝達者であるマスメディアと連携して、記者発表内容や情報提供サイト等の内容や表現内容を改善する。 【H31年度～】 | - | - | - | ・情報伝達者であるマスメディアと連携して、記者発表内容や情報提供サイト等の内容や表現内容を改善する。 【R元年度～】 | - | - | ・情報伝達者であるマスメディアと連携して、記者発表内容や情報提供サイト等の内容や表現内容を改善する。 【H31年度～】 ・阿武隈川上流域「メディア連携協議会」の開催【R3.3.】 ・WEBサイト「川の防災情報」で用語集を公開【R3年度】 | - | |
| 20 | | ・気象情報発信時の水害時の情報入手のし易さを改善【拡大】 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ・危険度レベルの設定【H29.3】 ・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化【H29年度出水期～】 ・「警報級の可能性」「危険度を色分けした時系列」の発行(防災情報提供システムにより全市町村へ提供済み) ・危険度分布図の提供【H29.夏】 ・警報(危険度分布)等の精度向上、除外格子の設定 ・浸水、洪水の危険度を色分けしたメッシュ情報等の利活用の促進 ・引き続き、危険度分布提供河川の拡充作業【継続実施】 | |
| 21 | | ・河川情報表示板等の増設及び表示内容の多様化【拡大】 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ・既存の9箇所の配置状況を周知し、関係自治体の意向を確認した上で増設の検討を行う ・表示内容の具体化について、関係自治体と調整し検討する【継続実施】 |
| 22 | | ・本川の背水影響が及ぶ区間も含めた「危機管理型水位計」及びCCTVカメラ、簡易型監視カメラの設置。周知による早期避難の促進。【集約】 | ・浸水被害等管理箇所簡易型監視カメラを設置し、リアルタイムで情報共有を行う。【令和3年度】 | ・郡山市防災ウェブサイト「国文省防災情報提供センター」福島河川国道事務所「ハナ」添付⇒ライブカメラ画像(CCTV)閲覧可能 ・蔵田川照内川合流地点にWebカメラを設置した。【R2年度】 ・善宝池、桑室川、南川、南川谷、古川池の4箇所にWebカメラを設置する。【令和3年度】 | ・市広報誌や市HP等へ掲載し、周知を図る【H28年度～】 ・準用河川等への内水監視カメラの設置【令和2年度設置】 | ・広報誌・HPなどへの掲載にあたり、国と連携【H28年度～】 ・「ハザードマップへ設置箇所掲載し周知を実施」【平成30年度～】 | ・広報誌・HPなどへの掲載にあたり、国と連携【H28年度～】 ・監視カメラの設置 ・塩野川及び古川各1箇所【令和2年度】 | ・広報誌・HPなどへの掲載にあたり、国と連携【H28年度～】 ・監視カメラの設置 ・FMラジオにより周知する。【H28年度～】 | ・町HPから福島河川国道事務所のライブカメラ閲覧可能【H28年度】 | ・広報誌・HPなどへの掲載にあたり、国と連携【H28年度～】 | ・広報誌・HPなどへの掲載にあたり、国と連携【H30年度～】 | ・広報誌・HPなどへの掲載にあたり、国と連携【H28年度～】 | - | ・広報誌・HPなどへの掲載にあたり、国と連携【H31年度～】 | ・簡易型河川監視カメラの配置計画を検討・調整し、順次整備を実施。 【R元年度～】 | - | - | ・簡易型河川監視カメラの配置計画 【H31年度～】 ・危機管理型水位計を30基配置【H31～R2】 ・R1までに設置完了していたCCTVカメラ63基と、R2設置した簡易型河川監視カメラ77基(うち県管理のもの4基)により、総計140基で身近な河川の状況を把握できるようになった。 【R2】 | |

取組方針フォローアップ(集約結果)

○ソフト対策の主な取組(機関別の取組目標)

R5.2.14時点

| 項目 | 事項 | 内容 | 福島市 | 郡山市 | 須賀川市 | 二本松市 | 伊達市 | 本宮市 | 桑折町 | 国見町 | 大玉村 | 鏡石町 | 矢吹町 | 玉川村 | 福島県(河川計画) | 福島県(危機管理) | 東北地整 | 気象庁 | |
|------------------------------|----|---|--|--|--|--|--|---|--|---|---|---|---|--|--|--|---|---|--|
| ②発災時に人命と財産を守る『水防活動』の強化 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | | ・水防団や地域住民が参加し、水害リスクの高い箇所での共同点検結果の活用【拡大】 | ・国、県で実施する「重要水防団所合同ハトール」に参加し、目視及び位置図を使用して、リスク箇所の確認を実施【継続実施】 | ・国、県で実施する「重要水防団所合同ハトール」に参加し、目視及び位置図を使用して、リスク箇所の確認を実施【継続実施】 | ・重要水防団所合同巡回視察に参加する。 ・重要水防団所合同ハトールへの地区住民参加を検討【H29年度～】 | 【継続実施】 | ・毎年、河川国道事務所が実施する重要水防団所等の共同点検に参加する | 【継続実施】 | 福島河川国道事務所が実施する「重要水防団所合同ハトール」に水防団及び地元住民と参加し危険箇所等の共同点検を実施する。【継続実施】 | ・重点水防区域ハトールを、水防団、町合同で実施する。【継続実施】 | ・福島河川国道事務所が実施している重要水防団所等への参加を継続する。【継続実施】 | 毎年、河川国道事務所及び県が実施する重要水防団所等の共同点検に参加する。【R3年度～継続目標】 | - | 毎年、河川国道事務所及び県が実施する重要水防団所等の共同点検に参加する。【継続実施】 | 毎年、河川国道事務所及び県が実施する重要水防団所等の共同点検に参加する。【継続実施】 | - | 重要水防団所等の共同点検を、自治体・地元水防団と毎年出水期間に実施し、情報を共有している。【毎年(昨年度も実施)】 | ・福島河川国道事務所が実施している重要水防団所合同ハトールへの参加を継続する【継続実施】 | |
| 24 | | ・充分な水防資機材の整備と確保【継続】 | ・毎年実施している水防ハトールの際、今後も継続して各備蓄倉庫の資機材、及び支所等にある土のう等の状況確認【H28年度～】 | ・船外機付ボート及びゴムボートを配置し、定期的な点検を実施 毎年、機器点検を兼ねての清艇訓練を実施【継続実施】 ・発電機176台、投光器161基を整備【H29～R2年度】 ・浮輪161個を整備【R1年度】 ・排水ポンプ7台、胴長96箱を整備【R2年度】 | ・水防活動等に必要資機材のストック状況の確認、必要数を確保する。 ・流域内を管轄する水防(消防)団にライフジャケットを貸与する【継続実施】 | ・水防活動に必要と思われる資機材の充実を図る【H30年度～】 ・内水対策用小型排水ポンプ6台整備【令和3年度】 ・内水対策用小型排水ポンプ4台整備【令和4年度】 | ・水防倉庫を定期的に点検して、資機材の整備と確保を行う【H28年度～】 ・排水ポンプ車(2台)の導入【令和3年度】 | ・船舶及び水防資機材を保管する地域防災センターの建設。 【H28.6建設済】 ・ゴムボート船外機の更新。【H28年度更新済】 ・水防資機材等の点検と整備を進める。 【H28年度～継続実施】 ・出水期における住民への土のうの配布。【H28年度～継続実施】 ・住民へ配布するための土のうの整備。 【H28年度～継続実施】 | ・水防計画に記載された資機材の確認を実施した。次年度以降においても数量確認、必要資機材の検討を随時行う【H28年度～】 | ・随時、水防団と連携し確認・補充等を行っている。 ・水防活動に必要な資機材のストック状況の確認、必要数の整備と確保を行う【H28年度～】 | ・水防資機材等の整備を進める。 【H28年度～】 ・定期的な点検を行い、水防団員の安全を確保するための資機材の整備・充実を図る。【R3年度～継続目標】 | - | ・定期的な点検を行い、水防団員の安全を確保するための資機材の整備を進める。【継続実施】 | ・水防計画に基づき、資機材の必要数量を確保する | - | ・水防活動等に必要資機材のストック状況の確認、必要数の整備と確保を行う【継続実施】 ・排水ポンプ車2台増強、照明車3台増強【R2】 | - | | |
| ③一刻も早く日常生活を取り戻すための『排水活動』等の強化 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | | ・国と市町村の合同で排水ポンプ車の操作訓練実施【継続】 | ・合同訓練に参加する【H28年度～】 | ・可搬式排水ポンプを搭載した車両を活用して、国と合同で操作訓練を実施【H27.6】 【H27年度～】 【H30年度～】 ・継続実施 | ・排水ポンプ車等の操作訓練に積極的に参加する。 ・市防災訓練の参加者が、河川流域の住民である場合、訓練参加の要請を行う【毎年継続実施】 | ・国が実施する、排水ポンプ車等の操作訓練に参加する【H28年度～】 | ・排水ポンプ車の合同訓練への参加【令和3年度】 | - | ・国実施の訓練に参加する【H29年度～】 | ・国で実施する排水ポンプ車等の訓練への参加を検討する【H28年度～】 | - | ・国で実施する訓練等への参加を検討する。 | - | ・国で実施する訓練等への参加を検討する。 | - | - | - | ・排水ポンプ車等の訓練に際して県市町村でも案内を行うとともに、実際に設置訓練にも参加するものとする【継続実施】 ・自治体と合同で排水ポンプ車の操作訓練を毎年実施している。 ・R2年度・相馬市 ・R3年度・福島市、伊達市、国見町、相馬市 ・R4年度・伊達市、相馬市 | |
| 26 | | ・災害対策機械の適切な配置検討、増強及び機動的かつ広域的な運用【継続】 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ・管内各拠点へ分散配備することで、災害時に迅速な対応を行っている。また、県を越えての広域的な運用もしている。 【継続実施】 ・豪雨災害において、排水ポンプ車の広域運用を実施(実績)H28.8、H29.10、H30.7、R1.10、R2.9 ・R3 R4は広域派遣実績無し |
| 27 | | ・各自治体での排水ポンプ場の運転調整ルール策定【新規】 | - | 各河川管理署及び流域の関係機関との協議に基づき、各排水ポンプ場ごとに運転調整の方法について検討する。 | - | - | - | - | - | - | - | 関係自治体との連携を図りながら情報収集と運用ルールの検討を進めず【R3年度～継続目標】 | - | - | - | - | - | - | ・運転調整ルールが定められていない排水ポンプ場について、運転調整ルールを策定する。福島管内では12施設中7施設のルール策定が完了している。【R3.5】 |
| 28 | | ・排水作業準備計画の作成【継続】 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ・浸水リスクが高い6箇所策定【R3年度】 |